



斐太北小学校



所在地 妙高市大字飛田 690 番地

電話 72-2629 FAX 72-8776

ホームページ <http://www.azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/>

1 学校の概要

- (1) 創立 明治8年8月1日
- (2) 教職員 校長 飯塚 教裕 教頭 浅山 景
教諭8名 養護教諭1名
主事1名 教育補助員1名
特別支援教育支援員1名
用務員1名

(3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第1学年	1	5	4	9
第2学年	1	6	4	10
第3学年	1	5	7	12
第4学年	1	7	2	9
第5学年	1	5	8	13
第6学年	1	5	5	10
特別支援	1	4	0	4
合 計	7	37	30	67

2 学校経営の基本構想

- ・職員の英知を結集し、教育活動及び学校運営の改善、充実を図る。～前年度踏襲は、衰退のはじまり～
- ・みらい学習（生活科、総合的な学習の時間）を中核とした、教科横断的な学習、主体的な体験活動、他者との交流を通して、自分の考えを創り出す子を育み一歩上の自分を目指す。

3 教育目標

「進んで学ぶ子 心の豊かな子 たくましい子」

4 年度の重点目標及び努力事項

(1) 重点目標

- ・E S D教育の推進及びSDG sの目標達成を図りながら、子どもたちが「6つの視点」、「7つの力」を身に付け、持続可能な担い手の育成に取り組む。
- ・ユネスコスクール加盟に向けたカリキュラム及び教育活動に取り組む。

(2) 努力事項

- ・みらい学習と各教科、道徳、特別活動との関連を図った「斐太北カリキュラム」の見直しを図り、確かな学力を育成する。
- ・SDG sの視点及びコロナ禍の視点に立った人権教育、同和教育、異年齢集団活動の充実を図り、豊かな心を育成する。
- ・体力向上に向けた体育の授業改善、ネット社会との正しい関わり方の指導及び生活習慣の指導に取り組み、心身の健康を育成する。

5 研修計画

(1) 研究主題

「創り出す子」を育む 斐太北カリキュラム・マネジメント

～「考えを創り出す子」の育成をめざして～

(2) 主題設定の理由

これまで当校では、みらい学習を中核とする「斐太北カリキュラム」の生成により、各教科・道徳・特別活動などの有機的な関連を生み出し、当校の子どもがもつ「課題に対して真面目に取り組む姿」や「体験活動に生き生きと取り組む姿」を具現した。

こうした姿に加え、目まぐるしく変化する社会情勢において、「未来を切り拓くために、目の前の課題にしっかりと目を向け、様々な見方や考え方を取り入れながら、柔軟かつ論理的に考えることのできる」資質・能力の育成が必要であると考え。本研究では、そうした子どもたちの目指すべき未来像を思い描きながら、「考えを創り出す子」の具現に焦点を当てていく。

(3) 研究内容

考える力の育成を目指し、みらい学習と各教科双方が有機的に関連するカリキュラムづくりを行う。

- ・「読解力」の6領域を意識した各教科における授業づくりの追究
- ・ICTを生かした対話や思考を深める授業づくり
- ・コミュニティ・スクールの特色を生かしながら創り出すE S D教育を核とした学年カリキュラムとそのマネジメント

6 SDG s推進計画

- ・校務分掌にE S D教育部会を位置づけ、毎週定期的に部会を開催し、活動の進捗状況を確認する。
- ・E S Dだよりを発行し、保護者、地域に子どもたちの活動の様子、成果、課題を発信する。
- ・みらい学習（E S D教育）を通して、最終的にはSDG sの目標達成に取り組む。

7 主な行事の予定

- 4月：始業式 入学式 1年生ぬくもりスタートプラン
- 5月：避難訓練 体力テスト フレンドミッション2022
- 6月：学習参観 避難訓練
- 7月：地域児童会 終業式 6年修学旅行
- 8月：始業式
- 9月：学習参観 引き渡し訓練
- 10月：PTA奉仕作業 体育大会
- 11月：市音楽発表会 読書旬間 マラソン大会 個別懇談
- 12月：地域児童会 終業式
- 1月：始業式 書き初め大会 避難訓練
- 2月：移行学級 スキー教室 学習参観
- 3月：6年生を送る会 終業式 卒業式